

D I F A R

Desarrollo Integrado Familia Rural

DIFARとは、「農村を対象とした総合的な発展の為の支援」の西語訳 Desarrollo Integrado Familia Rural の頭文字の略で「ディファル」と呼びます。2003年に協力隊OBが発足し開発途上国であるボリビアの農村地域社会の人々が今日の家族の安心を得、明日の家族の希望が持てるような支援を願って活動が展開されています。

発行 DIFAR 事務局

事務所 〒515-3421 三重県津市美杉町八知 1 3 8 3 番地

Tel/Fax 059-272-1650

E-mail somaya.takimoto@za.ztv.ne.jp



●2007年にできた堆肥場で 猿子君（2008年1月派遣）と手伝う子どもたち

活動開始から5年目を迎えます！

2003年から始まったD I F A Rの活動も今年で5年目を迎えます。活動の内容も各家族への支援をベースに現地市役所をカウンターパートナーにした事業へと展開してきました。今年度は今後のD I F A Rの現地での方向性や自立への一歩となる事業展開へ向けて大きな1年となりそうです。

昨年度の活動の主なニュース

☆ 2007年1月に専門家が派遣されました！

1ヶ月間、有機堆肥専門家の三重県在住の橋本力男氏とフラワーデザイナーの松井里美さんが私達の現地を訪れました。今まで進めてきたエコサントイレ建設の副産物の「人糞堆肥」をどのように処理して安全な有機堆肥として農業利用できるか、という目的の派遣だったのですが、この他5ヶ所8回の堆肥作りの研修を行い参加延べ人数は226名でした。少々ハードスケジュールだった為や活動地で振舞われた食事や水なども原因か橋本氏は途中少し体調を崩される場面もありましたが全体的には元気に過ごして頂きました。橋本氏の派遣により、私達DIFARのスタッフのルーズな点が指摘され特に準備不足と言う点では今後スタッフで意識して改善していく必要が見えてきました。

この派遣をきっかけに、堆肥事業が始動し現地市役所で優先事項となっているゴミ処理問題も合わせてリサイクルする生ゴミリサイクル堆肥化事業へと展開して行きました。

2008年1月には 橋本氏の指導を受けた猿子君が派遣され、現地メンバーとともに 事業の経過と技術の再確認、そして今後の展開の方向性をD I F A Rや行政、住民の人達と話し合い、実行できるような形にすることを目的とし活動しました。



●講演会参加者と話す橋本氏と
通訳の里子



●完成したトイレの前で記念撮影
の家族



●生ゴミの回収をしているところ

★エコサントイレ 300 基達成！

7 基の建設から始まったエコサントイレ建設が 5 年目で 300 基に到達しようとしています。

上下水道が整わないこの地域では川が生活の大事な役割です。「Agua es Vida」＝水は命。こちらの人たちの会い言葉です。生活に欠かせないこの川がそこに住む人たちの知識不足や不衛生な環境の為汚染され、住民達自身を苦しめています。特に被害に合うのは小さな子供達です。日本では考えられない事です。下痢や、風邪などで小さな命が落とされるのが現状です。

その現状を改善する為に私達は日本の支援を受けて、現地市役所と協働でトイレがない地域にトイレの建設を始めました。そして、5 年目になる 2008 年の 3 月にはその数が 300 基に到達しようとしています。

まだ、現地に具体的な目に見える結果があるわけではありませんが、この事は子供達への衛生教育を初め、河川の水質向上に徐々に良い影響を与えていくでしょう。

この後、私達はトイレを建てた地域で必要としている家族に継続訪問をしていきます。トイレを建てても、その家族がトイレを使用する所までお世話しないと意味がないからです。現にこのモニタリングを行わないといつものまにか、道具小屋や鶏小屋になってしまうケースがあります。

トイレ建設は今年度、新たに 100 基の建設が行われる予定です。この 100 基をもって一区切りとして今後の新規の建設は現地市役所に委ねる予定です。モニタリングは継続する予定です。

☆生ゴミリサイクル事業開始！

2 月、橋本氏の帰国後、現地コアラパ市役所とこの新事業について協議を重ねた結果「生ゴミ堆肥化事業」を始める事になりました。リサイクルシステムは日本の技術を基に、現地に適応する細かい点を改善しながら進めて 07 年度は日本からの公的資金支援で堆肥場を建設し、現地市役所も土地を提供し事業の一部を負担する事になりました。

建設が 9 月着工、11 月に建設終了し、すぐに堆肥場として始動し始めました。最初の参加家族は 30 家族でした。DIFAR が配布したバケツに水切りした生ゴミをその都度投入し、床材と呼ばれる籾殻をベースとした資材を重ねていきます。これを毎週木曜日の朝、市役所のゴミ回収トラックが家の前を通り、家族は生ゴミをトラックにあげていきます。床材と混ぜられている為水分も少なく、臭いもそんなにありません。その回収された物はすぐに堆肥場へと運ばれ、その日の内に 1 次処理が行われます。

その後適切な切り替えしや、温度調整など手を加えて大体 3 ヶ月～5 ヶ月で完熟堆肥となる予定です。

この試みはとても、現地では興味深く関心を持たれていて学校や、コアラパ市で活動する NGO など見学に来ています。私達は学校でこのミニ版ができないかと考えています。

作った堆肥を使用して、今後有機野菜栽培や、堆肥販売を行い収益を生み出す事業として発展させていきたいです。



●報告会（愛農学園）



●報告会（美杉中学校）

☆無事 報告会を終了しました。

報告会を行いました。各報告会を準備して下さった方々有難うございました・・・

期間 08年2月末～3月末 実施箇所 11 箇所 参加延べ人数 241人
報告会の参加者から

- *「支援は彼にたいしてではなく、次の世代に送るものである。。。」という自立した世代への 生活環境支援に感動しました。異国での生活、ご苦労も多いことと思います。お体を大切になさってください。
- *公害問題など経験している日本だからこそ、発展途上国に対して支援できる知恵も責任もあると思いました。社会貢献をしたいと思っている人はたくさんいると思いますが、実際に行動に移すことは難しいこともあります。このような形で支援のお手伝い出来るのは、喜ばしいことだと思いました。ありがとうございました。
- *ボリビアのことがよくわかって良かったです。全然知らない国でしたが、私が知らないところで、大変な生活をしている人がいるんだと思って、もっと1日1日を大切に生きていきたいと思いました。
- *ビデオを観たり、話を聞かせてもらって 本当に感心しました。日本は豊かにはなりませんが、それが幸福と結びついていません。ボリビアが日本の様な同じ道を進まないことを願っています。

☆出産も無事に終えることができました。

4月28日に 無事出産しました。3150gの女児です。すくすく育っています。
日本名:瀧本 芽生(メイ)
ボリビア名:Ana May Franco Takimoto
母体の回復も順調です。これからもよろしく。

☆復帰後の予定について

9月7日に帰国予定です。一家4人で帰ります。それまでは 子育てが主になりますが、7月19日に報告会を名古屋でさせていただくことになっています。(別紙参照)
その間、地域や学校などで 報告会をさせていただきたいです。事務局まで 連絡お待ちしております。

☆2008年度の活動計画

- 生ゴミリサイクル活動を新たに150家族を対象に行う。
- 生ゴミと人糞から作られた堆肥を農業利用するための 試験栽培を行い、調査、資料の作成
- トイレ建設175基

☆ご支援を募ります。

以下の方法で ご支援金を募っています。
よろしく願います。

- A 個人会員 ① 年会費 10000円
- B 個人会員 ② 月会費 1000円
- C 賛助会員 不定期に支援金を送る
- D 法人会員 年会費 1口 100,000円
- E 協力会員 織物やもずくなどの購入による協力

●振込先 いずれも 口座名は「DIFAR」

- 1 ゆうちょ銀行 総合口座
口座番号:12220-25078951
- 2 振替口座
口座番号: 00810-1-96464
- 3 東京三菱UFJ銀行
支店名: 四日市中央支店(450)
口座番号:0649345

※電信振替(総合口座から総合口座・振替口座)ATM送金は 無料になります。



事務局より

●ご支援ありがとうございます。(2007/07～2008/4)

会費		団体寄付金・助成金	
7月	62,200円	2007年7月	国際ボランティア貯金 3,313,000円
8月	116,940円	2008年4月	津市国際交流事業 250,000円
9月	43,000円	5月	国際ボランティア貯金 3,908,000円
10月	58,000円	5月	エキスパートチャリティアソシエーション 1,920,000円
11月	34,000円		
12月	38,000円		
1月	30,000円		
2月	105,000円		
3月	52,000円		
4月	50,000円		

もずく売上

7月	10,000円
10月	9,000円
11月	18,000円
12月	47,000円

織物など商品売上

7月	12,600円
8月	12,600円
9月	38,800円
10月	53,100円
3月	54,000円
4月	81,000円
5月	27,000円

●通信の発行が遅れ、申し訳なく思っています。定期的に発行できるにはどうしたらいいのか
思案しています。

このこととは変わりなく、現地での活動は順調のようなので ご安心ください。

●今年のモズクは 豊作だそうです。まだまだ 在庫があるようなので 皆さんたくさん召し上がってください。

●来年3月に 里子は帰国予定です。

約一か月の滞在中に 報告会をさせていただきたく思っています。

ご協力よろしくおねがいします。